

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

令和7年10月31日 札幌市立向陵中学校

【中学校国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校国語 【学習指導要領の内容】 【知識及び技能】 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 △全国平均を上回っている。 【思考力・判断力・表現力等】 A 話すこと，聞くこと △全国平均を上回っている。 B 書くこと △全国平均を上回っている。 C 読むこと △全国平均を上回っている。	●事象や行為を表す語句について理解すること。 ●相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。 ●読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えること ●目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 ●表現の効果について、根拠を明確にして考えること。	○新しく出会った言葉について調べたことを記録したり、その語句を話や文章の中で使ったりする活動の充実。 ○聞き手の反応を踏まえて話の受け止め方や理解の状況を捉え、相手に分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す活動の充実。 ○伝えようとするものが伝わるかどうか、文字や表記が正しいか、漢字と仮名の使い分けや語句の選び方・使い方が適切かどうかを確かめながら自分の書いた文章を見直す活動の充実。 ○題材や伝えたいことが目的や相手、書く意図に合っているかを判断しながら文章を各活動の充実。 ○表現の効果について、自分の考えを支える根拠を挙げながら自分の考えを書いたり、発表したりする活動の充実。

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

令和7年10月31日 札幌市立向陵中学校

【中学校数学】

本校の概要		今回の調査における課題	改善の方向
中学校 数学	【学習指導要領の領域】 A 数と式 △全国平均を上回っている。	●目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること。	○文字を用いた式を活用して、数量や数量の関係を簡潔、明瞭で一般的に表現し、処理する活動の充実。その際、処理することによって得た結果を問題に即して解釈することができるようになることが大切。
	B 図形 △全国平均を上回っている。	●ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること。	○図形の性質を考察する場面において、ある事柄が成り立つことを数学的な表現を用いて説明するとともに、解決過程を振り返り、得られた結果を意味づけたり活用したりする活動の充実。
	C 関数 △全国平均を上回っている。	●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。	○日常生活や社会の事象を考察する場面において、事象を理想化したり単純化したりして、取り出した二つの数量の関係を関数とみなし、問題を解決する活動の充実。その際、問題解決の方法を数学的に説明できることが大切。
	D データの活用 △全国平均を上回っている。	●不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。	○不確定な事象を考察する場面において、場面の数を基にして得られる確率を用いて事象の起こりやすさの傾向を捉えて判断するとともに、その判断の理由を確率を根拠として説明する活動の充実。

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

令和7年10月31日 札幌市立向陵中学校

【中学校理科】

今回の調査における課題

【領域】

「エネルギー」を柱とする領域

- 考察をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明すること。

「粒子」を柱とする領域

- 化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表すなど質的・実体的な視点で捉えること。

「生命」を柱とする領域

- 小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造について学習する場面において、共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈すること。

「地球」を柱とする領域

- 大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現すること。

改善の方向

○観察、実験の結果を分析・解釈する力を育むために、探究の過程を調整して実験を計画したり、考察の妥当性を高めるための追加の実験や情報収集を行ったりする学習活動の充実。

○目に見えない粒子をイメージし、微視的に事象を捉えるために、1人1台端末を使用して、原子や分子のモデルを動かし、生徒が試行錯誤できるような学習活動の充実。

○観察、実験の目的や、その方法や結果についての見通しを明確にするとともに、各単元や各領域での知識及び技能をそれぞれ関連付けて多面的、総合的に探究する学習活動の充実。

○時間的・空間的な見方を働かせて、過去に起きたと考えられる事象を推論したり、地層の広がり方を推論したりできるようにするために、科学的根拠に基づいて地層の広がりや大地の変化について考察したことを表現する学習活動の充実。

***肯定的な回答の割合が特に高い項目**

【生活・行動面】

- △自分にはよいところがあると思う。
- △人が困っているときは、進んで助けている。
- △地域や社会をよくするために何かしてみたい。

【学習面】

- △わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。
- △読書が好き。
- △これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあった。
- △PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成（文字、コメントを書くなど）することができる。
情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができる。
プレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができる。
- △1・2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。
- △学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた。
- △授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる。
- △総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる
- △道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- △国語の授業の内容はよくわかる。
- △数学の勉強は好き。
- △理科の授業で学習したことは、将来、社会にでたときに役に立つと思う。

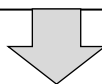
***肯定的な回答の割合が特に低い項目**

【生活・行動面】

- ▼学校に行くのは楽しいと思う。

【学習面】

- ▼国語や数学の授業で学習したことは、将来、社会にでたときに役に立つと思う。



<結果から>

- 学習への意欲が高く、自ら試行錯誤しながら学習を進めたり、総合的な学習の時間におけるプレゼンテーション活動や道徳における意見交流の活動など、協同的な学びに意欲的に取り組んだりしている生徒が多いです。学習を通して、学んだことが実生活でどのように役立てられるのか実感できる指導の充実に努め、「思考力・判断力・表現力等」の更なる育成に取り組んでいきます。
- 生徒会や委員会活動を中心として、学校生活や行事の見直しを行っています。活動実績をもとに、改善点を見だし、今後も生徒が充実感をもてるような学校生活の構築に努めていきます。